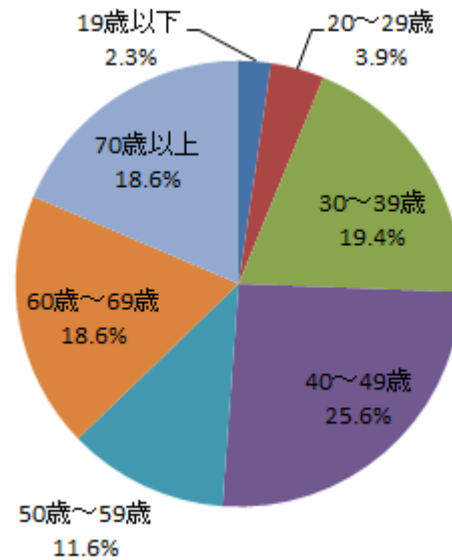


問2 あなたの年齢をお伺いします。(回答は1つ)

1	19歳以下	4	40～49歳	7	70歳以上
2	20～29歳	5	50～59歳		
3	30～39歳	6	60～69歳		

選択肢	回答数	回答分布
19歳以下	3	2.3%
20～29歳	5	3.9%
30～39歳	25	19.4%
40～49歳	33	25.6%
50歳～59歳	15	11.6%
60歳～69歳	24	18.6%
70歳以上	24	18.6%
計	129	100.0%



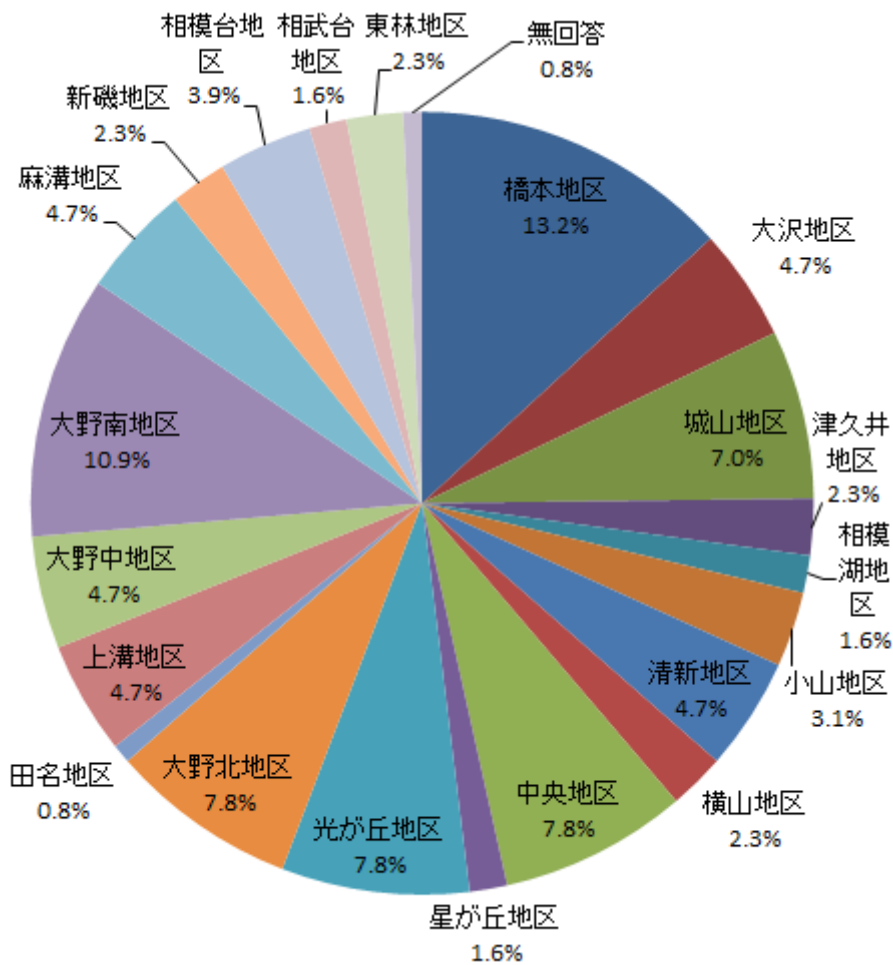
n=129

回答された方の年齢層は以上のとおりです。

問3 あなたのお住まいの地区をお伺いします。(回答は1つ)

1 橋本地区	7 小山地区	13 大野北地区	19 新磯地区
2 大沢地区	8 清新地区	14 田名地区	20 相模台地区
3 城山地区	9 横山地区	15 上溝地区	21 相武台地区
4 津久井地区	10 中央地区	16 大野中地区	22 東林地区
5 相模湖地区	11 星が丘地区	17 大野南地区	
6 藤野地区	12 光が丘地区	18 麻溝地区	

選択肢	回答数	回答分布
橋本地区	17	13.2%
大沢地区	6	4.7%
城山地区	9	7.0%
津久井地区	3	2.3%
相模湖地区	2	1.6%
藤野地区	0	0.0%
小山地区	4	3.1%
清新地区	6	4.7%
横山地区	3	2.3%
中央地区	10	7.8%
星が丘地区	2	1.6%
光が丘地区	10	7.8%
大野北地区	10	7.8%
田名地区	1	0.8%
上溝地区	6	4.7%
大野中地区	6	4.7%
大野南地区	14	10.9%
麻溝地区	6	4.7%
新磯地区	3	2.3%
相模台地区	5	3.9%
相武台地区	2	1.6%
東林地区	3	2.3%
無回答	1	0.8%
計	129	100.0%



回答された方のお住まいの地区は以上のとおりです。

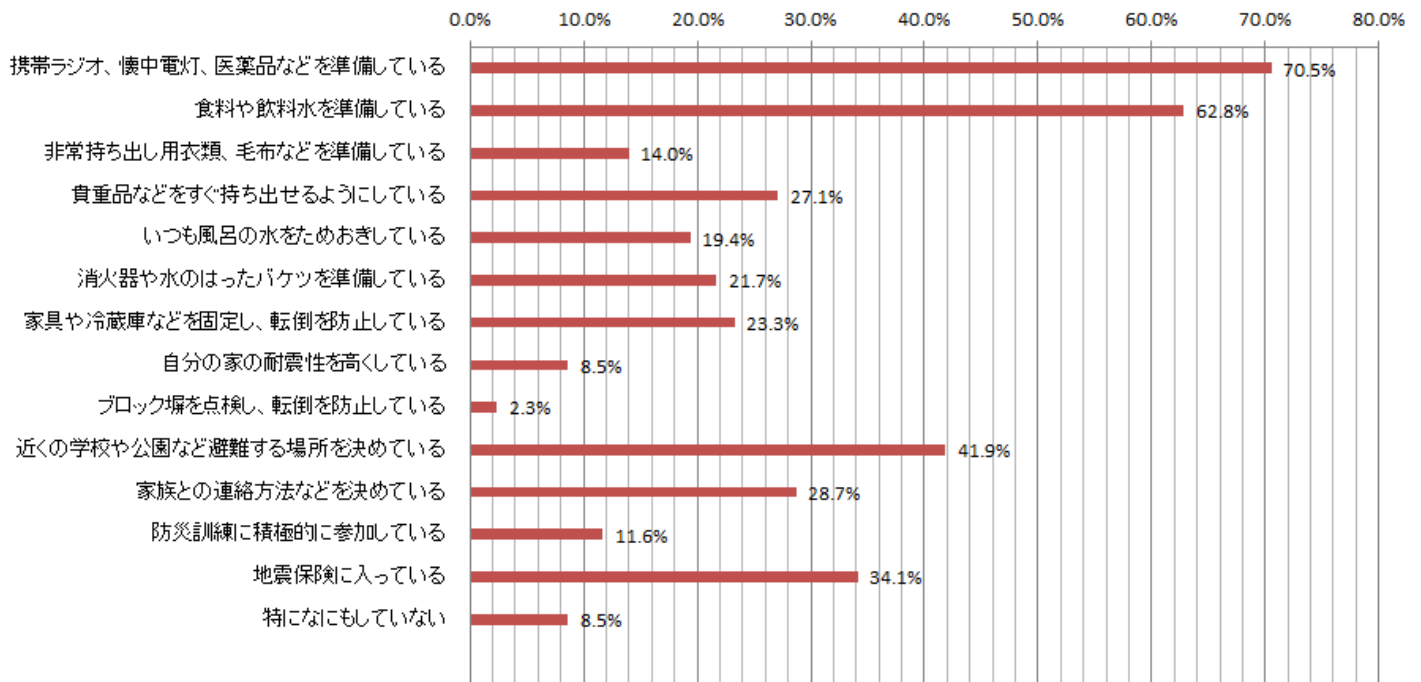
n=129

問4 あなたの家では、地震等の災害に備えてどのような対策を行っていますか。

(回答はいくつでも)

- 1 携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している
- 2 食料や飲料水を準備している
- 3 非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している
- 4 貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている
- 5 いつも風呂の水をためおきしている
- 6 消火器や水のはったバケツを準備している
- 7 家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している
- 8 自分の家の耐震性を高くしている
- 9 ブロック塀を点検し、転倒を防止している
- 10 近くの学校や公園など避難する場所を決めている
- 11 家族との連絡方法などを決めている
- 12 防災訓練に積極的に参加している
- 13 地震保険に入っている
- 14 特になにもしていない
- 15 わからない

選択肢	回答数	回答分布
携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している	91	70.5%
食料や飲料水を準備している	81	62.8%
非常持ち出し用衣類、毛布などを準備している	18	14.0%
貴重品などをすぐ持ち出せるようにしている	35	27.1%
いつも風呂の水をためおきしている	25	19.4%
消火器や水のはったバケツを準備している	28	21.7%
家具や冷蔵庫などを固定し、転倒を防止している	30	23.3%
自分の家の耐震性を高くしている	11	8.5%
ブロック塀を点検し、転倒を防止している	3	2.3%
近くの学校や公園など避難する場所を決めている	54	41.9%
家族との連絡方法などを決めている	37	28.7%
防災訓練に積極的に参加している	15	11.6%
地震保険に入っている	44	34.1%
特になにもしていない	11	8.5%
わからない	0	0.0%



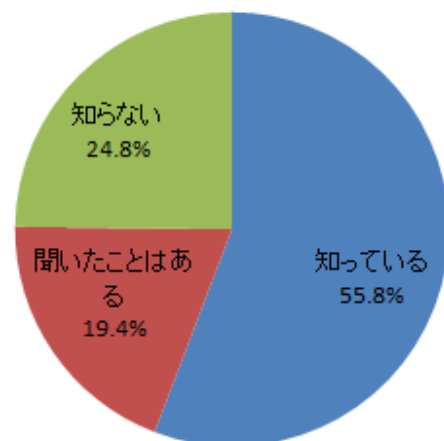
n=129

「携帯ラジオ、懐中電灯、医薬品などを準備している」が最も多く70.5%、次いで「食料や飲料水を準備している」が62.8%、「近くの学校や公園など避難する場所を決めている」が41.9%という結果となりました。

問5 - 1 あなたは、平成28年3月に全世界に配布された防災ガイドブックを知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	72	55.8%
聞いたことはある	25	19.4%
知らない	32	24.8%
計	129	100.0%



n=129

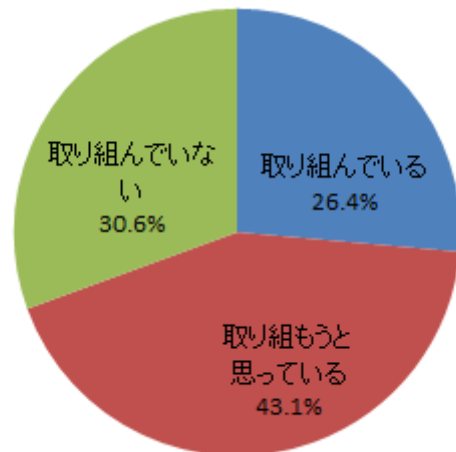
「知っている」が55.8%という結果となりました。

--> 《問5 - 1で、「1 知っている」とお答えの方へ》

問5 - 2 あなたは、平成28年3月に全世帯に配布された防災ガイドブックを読んで何か取り組んでいますか。（回答は1つ）

- 1 取り組んでいる
- 2 取り組もうと思っている
- 3 取り組んでいない

選択肢	回答数	回答分布
取り組んでいる	19	26.4%
取り組もうと思っている	31	43.1%
取り組んでいない	22	30.6%
計	72	100.0%



n=72

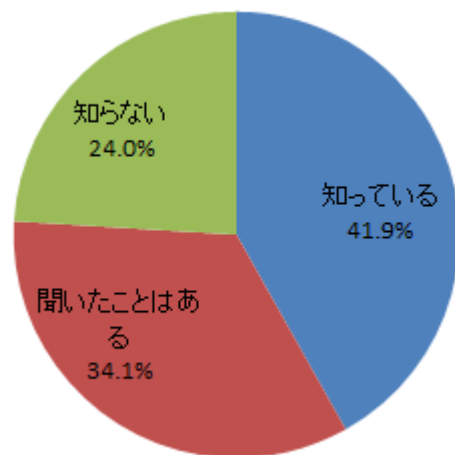
「取り組もうと思っている」が、43.1%という結果となりました。

【避難情報の認知度について】

問6 あなたは、要援護者等、特に避難行動に時間を要する者が避難行動を開始しなければならない段階であり、人的被害の発生する可能性が高まった状況で市が発令する「避難準備情報」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	54	41.9%
聞いたことはある	44	34.1%
知らない	31	24.0%
計	129	100.0%



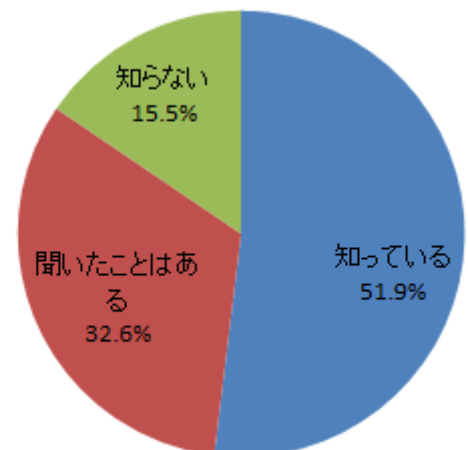
「知っている」が、41.9%という結果となりました。

n=129

問7 あなたは、通常の避難ができる方が避難を始めなければならない段階であり、被害の発生する可能性が明らかに高まった状況で市が発令する「避難勧告」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	67	51.9%
聞いたことはある	42	32.6%
知らない	20	15.5%
計	129	100.0%



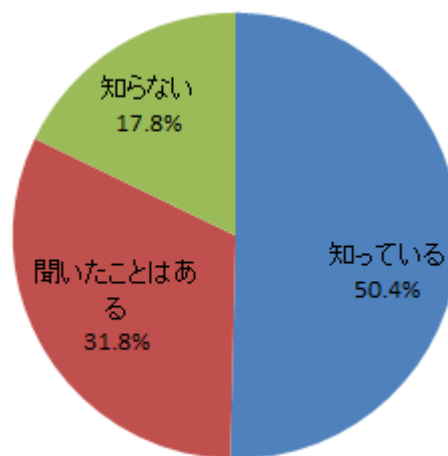
「知っている」が、51.9%という結果となりました。

n=129

問8 あなたは、災害が発生しそうな兆候や現在の切迫した状況から、被害の発生する危険性が非常に高いと判断された状況で市が発令する「避難指示」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	65	50.4%
聞いたことはある	41	31.8%
知らない	23	17.8%
計	129	100.0%



「知っている」が、50.4%という結果となりました。

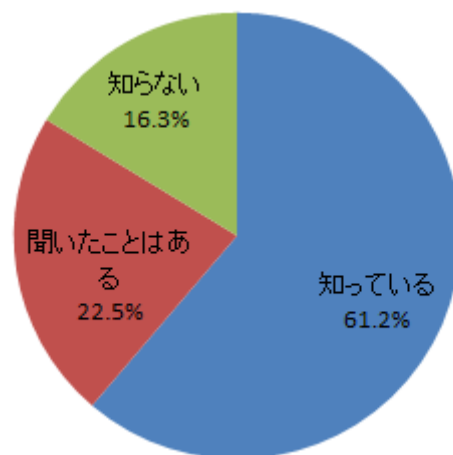
n=129

【避難場所、避難所の認知度について】

問9 あなたは、地震により火災や建物の倒壊等が発生した場合、一時的に様子を見るための場所として、地域の自治会が選定している「一時避難場所」を知っていますか。（回答は1つ）

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	79	61.2%
聞いたことはある	29	22.5%
知らない	21	16.3%
計	129	100.0%



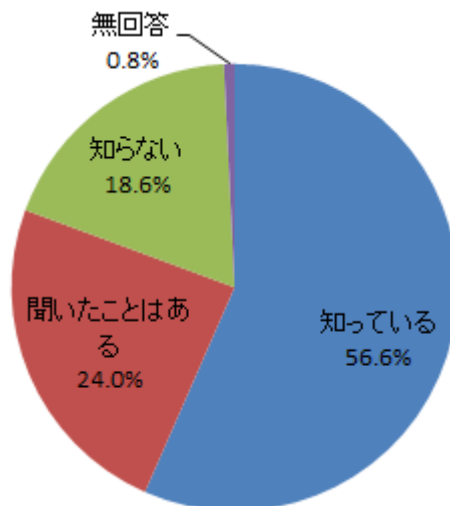
「知っている」が、61.2%という結果となりました。

n=129

問10 あなたは、地震により同時に多くの火災が発生し燃え広がった場合、火煙やふく射熱から身を守る場所として、市が指定している「広域避難場所」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	73	56.6%
聞いたことはある	31	24.0%
知らない	24	18.6%
無回答	1	0.8%
計	129	100.0%



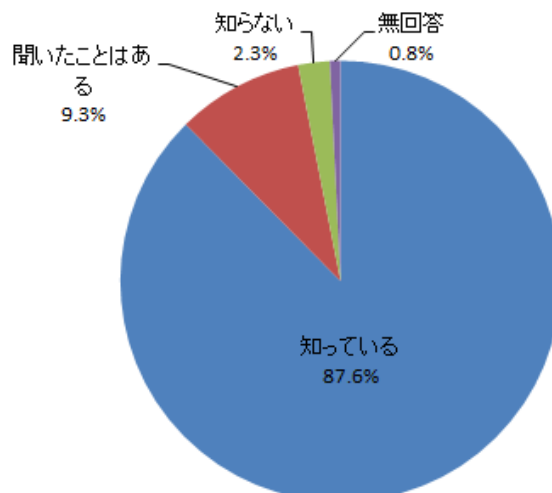
n=129

「知っている」が、56.6%という結果となりました。

問11 あなたは、災害発生時、被災した人を受け入れるために小・中学校などが避難所となっていることを知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	113	87.6%
聞いたことはある	12	9.3%
知らない	3	2.3%
無回答	1	0.8%
計	129	100.0%



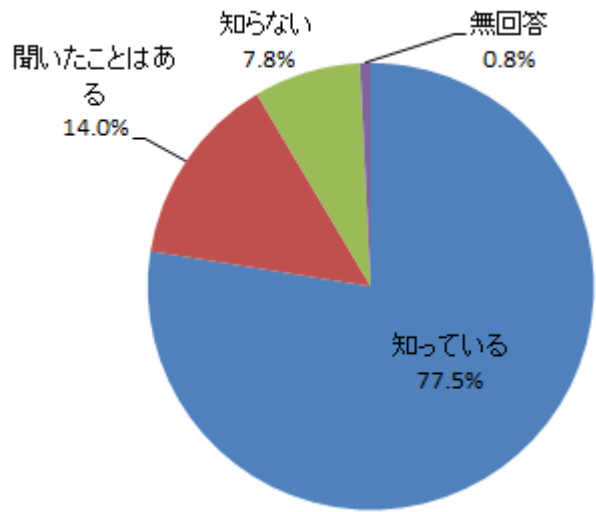
n=129

「知っている」が、87.6%という結果となりました。

問 1 2 あなたは、洪水や土砂災害の時の避難場所として小・中学校などが風水害時避難場所となっていることを知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	100	77.5%
聞いたことはある	18	14.0%
知らない	10	7.8%
無回答	1	0.8%
計	129	100.0%



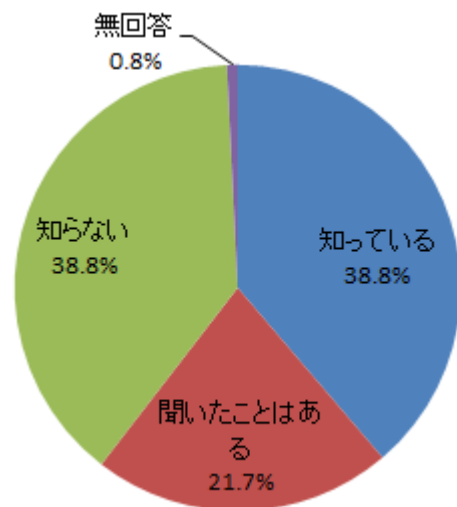
「知っている」が、77.5%という結果となりました。

n=129

問 1 3 あなたは、日常生活で使用する水や食料を多めに備蓄しておき、消費したら補充するという「ローリングストック」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	50	38.8%
聞いたことはある	28	21.7%
知らない	50	38.8%
無回答	1	0.8%
計	129	100.0%



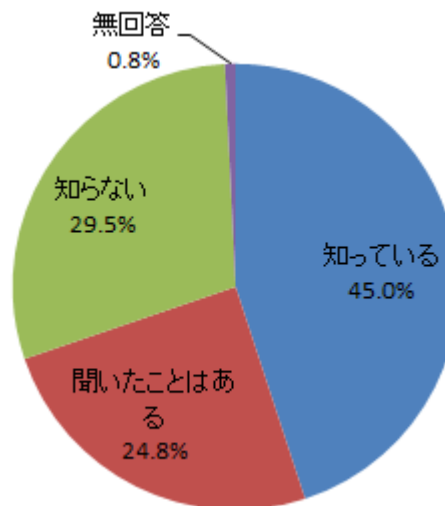
「知っている」が、38.8%という結果となりました。

n=129

問14 あなたは、災害時に停電が発生し、停電が復旧した時に発生する火災「通電火災」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	58	45.0%
聞いたことはある	32	24.8%
知らない	38	29.5%
無回答	1	0.8%
計	129	100.0%

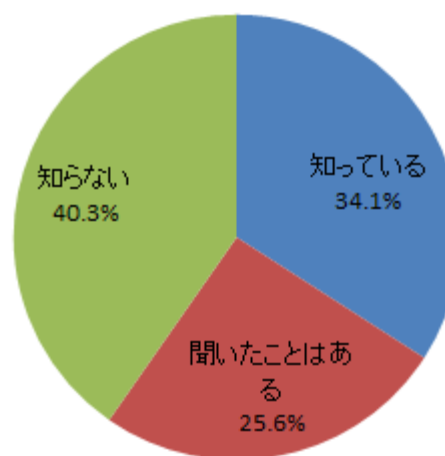


「知っている」が、45.0%という結果となりました。 n=129

問15-1 あなたは、地震の強い揺れにより自動的に電気の供給を遮断し、通電時の出火を防止することができる「感震ブレーカー」を知っていますか。(回答は1つ)

- 1 知っている
- 2 聞いたことはある
- 3 知らない

選択肢	回答数	回答分布
知っている	44	34.1%
聞いたことはある	33	25.6%
知らない	52	40.3%
計	129	100.0%



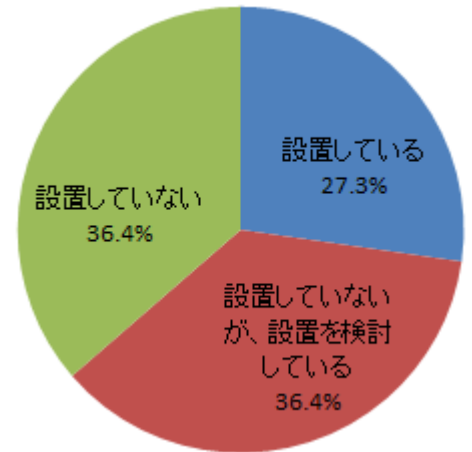
「知っている」が、34.1%という結果となりました。 n=129

《問15 - 1で、「1 知っている」とお答えの方へ》

問15 - 2 あなたは「感震ブレーカー」を設置していますか。(回答は1つ)

- 1 設置している
- 2 設置していないが、設置を検討している
- 3 設置していない

選択肢	回答数	回答分布
設置している	12	27.3%
設置していないが、設置を検討している	16	36.4%
設置していない	16	36.4%
計	44	100.0%



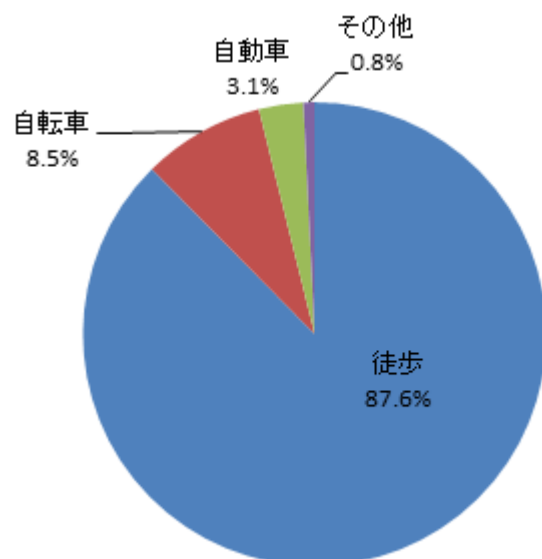
「設置している」が、27.3%という結果となりました。

n=44

問16 あなたは、災害時に、どのような手段で避難しますか。(回答は1つ)

- 1 徒歩
- 2 自転車
- 3 オートバイ
- 4 自動車
- 5 その他()

選択肢	回答数	回答分布
徒歩	113	87.6%
自転車	11	8.5%
オートバイ	0	0.0%
自動車	4	3.1%
その他	1	0.8%
計	129	100.0%



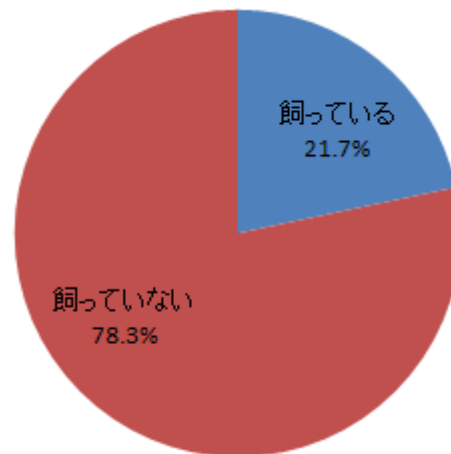
「徒歩」が、87.6%という結果となりました。

n=129

問17-1 あなたは、ペットを飼っていますか。(回答は1つ)

- 1 飼っている
- 2 飼っていない

選択肢	回答数	回答分布
飼っている	28	21.7%
飼っていない	101	78.3%
計	129	100.0%



「飼っている」が、21.7%という結果となりました。 n=129

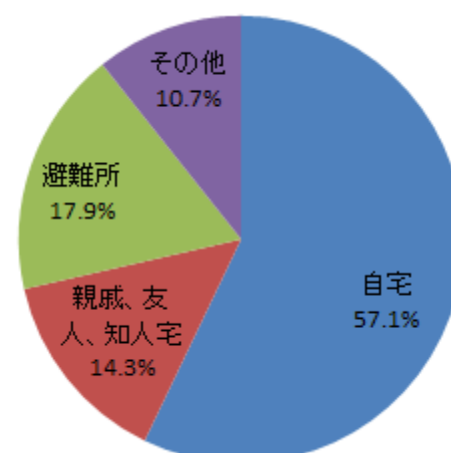
《問17-1で、「1 飼っている」とお答えの方へ》

問17-2 あなたは、災害時の避難生活で、ペットをどこで生活させる予定ですか。

(回答は1つ)

- 1 自宅
- 2 親戚、友人、知人宅
- 3 避難所
- 4 その他

選択肢	回答数	回答分布
自宅	16	57.1%
親戚、友人、知人宅	4	14.3%
避難所	5	17.9%
その他	3	10.7%
計	28	100.0%



「自宅」が、57.1%という結果となりました。 n=28

問18 最後に防災に関してのご意見などございましたらご自由にご記入ください。

情報提供等について

<p>・ひばり放送などで火災や地震などの情報案内を早めにアナウンスしてください。そしてどの方向に逃げれば良いか、お知らせください。</p>
<p>・先日避難所運営訓練へ参加をしました。大人から子供（中学生以上）まで、参加することで、災害発生時に迅速な対応ができるようになると思います。</p>
<p>・行政独自の防災マニュアルがあると思いますが、広報紙やホームページなどの文面だけでなく、大型スーパーや商店街、住宅街などあらゆる場所で子供でも避難行動が想定できる分かりやすい表示を希望します。</p>
<p>・東京都が作成した「東京防災」を拝見しました。とても勉強になり、防災意識が高まり、家の中の家具を固定するきっかけになりました。絵が見やすかったです。</p>
<p>・市の防災放送について、屋内では、何を言っているのか聞き取れないことが多い。音声割れてしまうので何か別の方法はないものかと日頃感じています。</p>
<p>・小学校に入るまで、市の防災メール配信やテレビでの避難情報の見方を知らなかった。子供のいない世帯にも広く使用を促すべきと思います。</p>
<p>・防災情報に触れる機会は、行政の努力で目にすることが多くなったと思います。後は各自が行動を越しやすいようサポートをお願いしたいと思います。</p>
<p>・防災マイスター派遣制度を使い、対象者を絞った講習を行うことによって、各自が主体となった防災知識の普及に力を入れていただきたいです。</p>
<p>・天候不順でいつ災害が発生してもいいように、常にテレビ等の情報を聞いて素早い行動ができるようにしている。</p>
<p>・「避難準備情報」「避難勧告」「避難指示」等は似かよっている言葉で間違いやすく、意味もよく分からない。誰もが理解しやすく、すぐに行動が取れるような分かりやすい言葉にしてほしい。日頃から隣近所と良好な関係を持つ事も大事だと思います。</p>
<p>・もっと「避難準備情報」「避難指示」を市民の人達に広めていった方がいいと思います。</p>
<p>・今回アンケートに答えてみて、防災に関しての自分自身の意識が低いことが分かりました。我が家では、さがみはらメールマガジン（安全・安心・防災）に登録をしていますが、お年よりだけの世帯等が情報をきちんと受けとることができるのか心配しています。</p>
<p>・今回のアンケート、自分自身の無知さ加減に恥ずかしくなりました。両親に聞いたり、インターネットで調べてみたりしようと思います。</p>
<p>・「ひばり放送」「消防団員による車での巡回放送」「自治会による班長などによる回覧、又は伝達」が日常的に唯一の信頼できる情報入手の手段であり、感謝しています。「ひばり放送」後に、改めて「巡回放送」が行なわれることが切望します。その他の雑情報は非常時には混乱をまねくと思っています。併せて、日頃から減災対策の工夫を各家庭で心掛ける事が必要であり、啓発指導も有効だと思っています。</p>
<p>・避難所を知ってる人、知らない人に関わらずゴミ捨てや人目につく場所に災害情報等を掲示する様にしてほしい。東日本の震災、阪神淡路の震災の教訓を改めて、ひば</p>

<p>り放送を活用し、地域で広めてほしい。</p>
<p>・今年配布された防災ガイドブックを家族とともに読み、改めて考えておかなければならないことが多いことが分かりました。今まで漠然としていたものが、より具体的に表記されていたので、少しずつ準備を始めることができました。フリーペーパーや広報さがみはらにも9月近くになると情報は出ていましたが、日時がたつと廃棄してしまってきたので、このように一冊にまとまっていると、保存して時々目を通すことができるようになったのは大変良かったと思います。防災ガイドブックには避難場所情報には避難時連絡先などの表記もあるといいのではないかと思います。</p>
<p>・ひばり放送が聞きとりにくい場所をなるべくなくしてほしいです(スピーカーの質・向き)。</p>
<p>・ひばり放送が何を言っているのか、周りの騒音で聞こえ難くて、困ります。私は、いつもテレビ神奈川の「データ連動」を見て、確認しています。何とかひばり放送がきちんと聞こえるように工夫していただきたいです。</p>
<p>・ひばり放送は、自宅からも聞こえ、大変有難いです。防災時この放送が頼りになると思います。</p>
<p>・避難準備情報や避難勧告は、まだ避難するか否かは自由の段階という認識でした。勧告や準備という言葉は響きが弱いため、分かりやすい言葉に変更してもよいのではないかと思います。</p>
<p>・市からの防災情報として、避難方法とか減災方法とかはもちろん重要ですが、自治体が個人に依頼すること(事前に各家庭、個人が準備してほしいこと)もあるのではないかと思います。その視点での情報提供もしてほしいと思います。</p>
<p>・先日の台風による境川増水などでは、迅速な情報提供をいただいたと思っています。引き続き、ひばり放送・さがみはらメールマガジンなどを通じて、迅速かつ適切な情報提供をお願いできればと思っています。</p>

避難所、避難場所等について

<p>・ペットを飼っているため、避難所に入れないので不安である。 自家用車が動く状態であれば、車の中でペットと一緒に過ごすことを考えています。</p>
<p>・避難所が2ヶ所隣接しているので、どちらに避難したらよいか、よくわかりません。 動物が好きではないので避難所にペット連れて来たら当然外で飼育するものと思っていましたが、ペットと同室で過ごしたいという方もいると聞いたので対応を考える必要があると思っています。</p>
<p>・実際におきた際、避難場所に全員入れるのか不安があります。キャパシティの問題や出入口の対応など家でどれだけ準備すべきか不安があります。いろいろな情報があるために本当にどれだけ防災グッズ等が必要なのか不安があります。</p>
<p>・できればもう少し距離の狭い範囲の避難場所を設定してほしい。距離にして1 km以上ある最寄りの小中学校より、高校などほかの施設で距離の近いところを設定した方がいいのではないかと思います。</p>
<p>・相模原市内の小中学校に「自治会避難所」という看板があるのを良く見ますが、自治会に入っていない人や、地域に住んでいない帰宅困難者の人達には敷居が高くなってしまおうと思います。実際には行って追い出される事はないのですが、もっと誰でも困ってる人はどうぞという雰囲気にしてもらいたいです。</p>
<p>・自閉児の母親です。避難所ではパニックや多動・偏食があり、他の方に迷惑を掛けると思っていますので、自動車の中に待機したりせねばならないと思っています。県外に避難したりする人に補助(アクセス方法など)を行ってほしいです。</p>

備蓄等災害への備えについて

<p>・大きな災害が日本各地で起きたときは自分も備えなければと思うが、時が経つにつれて無関心の状態になってしまいます。これからはもっと本気で考えるようだと思っています。</p>
<p>・防災グッズを配布してほしい。</p>
<p>・将来の大地震に備えるため、準備を進めたいと思っています。</p>
<p>・自治会に入会してる人に防災グッズと地図を配った方がいいと思います。</p>
<p>・防災に対して、できていることと、できていないことがこのアンケートで分かりましたのでしっかり準備をしたいと思っています。</p>
<p>・防災グッズを自治体に常備していただきたい。</p>
<p>・備えたいがお金に余裕もないため世帯別(所得)に応じて負担が均等になるように援助等の検討をしてほしい。</p> <p>・家に車いすの障害者が居るが、他人に迷惑が及ぶと思うと避難場所に連れていけない。</p>
<p>・災害時は、まずは命を守ることが大切です。その後は、しばらく避難所での生活をしていく中で、心配なのはトイレと水です。</p>
<p>・3月11日の時、地震後すぐ子供を小学校に迎えに行き、その足で近所のスーパー、ホームセンターに行ったら閉店していて、コンビニに行ったら酒以外の飲料水、食べ</p>

<p>ものがありませんでした。(地震から、1時間ほど)皆さん、行動が早くビックリしました。それから水と食べものだけは倉庫に備蓄しています。</p>
<p>・いろいろな防災に対する情報は多いが、実際自分が何をしておけばよいかわからない。防災用品はいろいろあるが、どこに置いておくのが良いのか、実際に災害があった時に困らない様にしておきたいが、できていないのが、現状です。</p>
<p>・日頃から家族で防災の話はしています。防災食品、洋服、防災用品セットは点検を1カ月に1回行い、決まった場所に置いてあります。</p>
<p>・防災については、いつも気にしているのに、いざ質問されてみると、何の行動もおこなっていない事に気付かされました。もっと現実的に考え方を換え、家の中や備蓄、避難場所の確認をしておきたいと思いました。</p>
<p>・災害のニュースを見ていると、自分達も常に何かあった時用に、できることに対して、備えています。先日、熊本のニュースを見て、全国から災害時に届けてほしいと送られてきたものが他県にずっとストックされているというお話でした。皆さんの気持ちがかもったお品物がそこに届いていないということはとても残念な気持ちになりました。もし何かあった場合の流れ等も市の方でもいろいろとシミュレーションをして、皆様の気持ちを無駄にすることなく、被災者の元に届けられる様にしてほしいと思います。</p>
<p>・防災グッズなどをお店でみかけると、その時は、少し意識するのですが、どうしても普段は忘れがちになります。スタンプラリーなどで楽しみながら大事なスポットが知れたらいいとおもいます。</p>
<p>・防災の用意など少しずつ食料を買ってはいるが万全ではないと改めて思いました。大きいデパートなどのコーナーでは値段が高く、1つ購入するのも大変で簡単には揃えることができません。でも普通のスーパーで期限がある中で食べては買いということならできるかと、最近少しずつははじめました。まだしっかりとはいしていないとおもうがもう一度本を見ようとおもい、アンケートが良いきっかけとなりました。避難指示の言葉がわかりにくく、すごく似すぎているのでもう少しみんなの印象に残る啓発活動が必要だと思えます。</p>
<p>・防災・減災を目指して、一時避難場所に復旧に役立つ道具や食料の準備の充実が必要と思えます。</p>

防災訓練について

<p>・保育園や高校等で、年に2回(春・秋等)訓練をしたらいいと思えます。</p>
<p>・相模原市の防災訓練はイベント的な要素が強くまじめなイメージがしない。防災訓練は机上、雨天想定、冬季想定、夏場の酷暑想定、夜間想定で実施すべき。特に訓練で大事なものは、訓練をうまく行うことではなく、想定外の事態が発生したときに、どのように対処するか、という能力・対応力を身に着けることにある。たとえば、相模原市民の飲む水道水の浄水場に毒物が仕掛けられたり、止まってしまった場合には、どのように対応するのか、或いは、市内の複数個所で同時に火災が発生したり、飛行機が墜落した場合には、どのように対応するのか。道路が渋滞しているばあいには どうか、など、「もしも」のときの対応した訓練がないです。</p>

<ul style="list-style-type: none"> ・地域での訓練の必要性を感じています。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域で避難訓練をしたことが無いので、大災害が発生した場合、大きな問題もなく、住民が、指定場所に避難できるのか、考えると不安です。
<ul style="list-style-type: none"> ・地域で日にちを決めて、避難訓練をやってほしいです。小さな子供連れの方へのサポートもあるとよいと思います。(避難への補助など)
<ul style="list-style-type: none"> ・各地域で避難訓練を一年に何度か実施してほしい。実施主体は問いません。
<ul style="list-style-type: none"> ・毎回防災訓練に参加していますが自治会等の報・連・相がまだまだ徹底していない様子で、いざ災害が発生してもうまく行動できないのではないかと思います。各人が大切とはいえリーダーが的確な指示も必要だと思う。避難場所についてですが、例として500人しか入れない所へ2000人の人が集まってしまうことも考えられます(前の地域で)このような状況をつくらないためにも早めに市と自治会との話し合いが必要だと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・防災訓練をもっと増やしてください。

その他

<ul style="list-style-type: none"> ・中央区は地震があっても洪水や土砂災害は少ない地域と思いますが、火災は多く発生する可能性はあります。従って初期消火が大変大切です。消火設備を隔々に設置する事を希望します。
<ul style="list-style-type: none"> ・市役所の被災停電等を考えると避難指示等に頼りすぎず、自ら行動することが必要だと思います。そのための広報、防災教育の工夫も課題かと思っています。
<ul style="list-style-type: none"> ・幸いなことに今まで避難しなければならぬような災害等にあつたことはありませんでした。もしもの時は、やはりご近所さんとのつながりが大事なかなと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・最近、近所の自治会の活動に参加する事ができているので、今回の内容は行動する事はできていると思います。相模原市政も含めて、自治会連合の活動と共同して、防災活動の現状を発信してください。宜しくお願いいたします。
<ul style="list-style-type: none"> ・私自身の防災知識を高めようと思いました。
<ul style="list-style-type: none"> ・政令都市に相応しい防災対応に関する政策をどんどん実施してください。
<ul style="list-style-type: none"> ・首都直下地震など大地震が起きた場合、木造住宅の集積などにより大規模火災の恐れがある相模原市内の地域を調査、公表するのはどうでしょうか。もし相模原市の方で既にそのようなことがなされているのであれば、市民に対してもっと発信するべきです。また東日本大震災の時、某鉄道会社が安全確保を理由に駅構内への立ち入りを禁止して、自宅まで帰れない多くの人々が路上に取り残され、一部その対応が非難されたケースがありましたが、相模原市内に駅を持つ鉄道会社は大震災等の緊急時どのような対応をとるのか、そして相模原市行政とどう連携できるのかなどしっかり議論していただきたいと思います。
<ul style="list-style-type: none"> ・アンケートの回答で余りにも防災に対し、関心がないのに驚いた次第です。一般的に防災に対する関心は無関心が多いのではないのでしょうか？本市自体の防災に対するPRも少ないように思われます。
<ul style="list-style-type: none"> ・いつ地震が起きるかわからないのでこわいが近所の人と仲良くして助けてもらうの

<p>が大事です。</p>
<p>・今回のアンケートで防災に関しての自分の意識の低さに気付くことができました。</p>
<p>・自治会に加入していないと助けていただけないのでしょうか？炊き出しや火災にあった時、自治会に入っていないと助けてもらえないという不安があります。自治会に加入しているメリットがわからないので脱退しようか検討しているのですが、災害が起きた時が不安です。小学校や運動場などへ避難した場合は助けてもらえるとは思いますが、地域での避難の場合は、どうなのかがわかりません。防災も大事ですが、実際に災害にあった時にどういう手順が必要なのかをセットで考えた方がいいと思いました。</p>
<p>・防災体験（地震・風・雨）をお願いします。</p>
<p>・防災に関して自助、共助、公助と3種類あるものと承知しています。先日市の方から「公助はあてにならない」と言われました。その通りだと思います。私たちはまず、自助に努力し、次に共助に努めこの2つでどうにもならない時は公助の力を求めることになるのだと思います。公助とて100%当てにならないことは多いと思います。</p>
<p>・熊本での事もあるしテレビラジオの報道をしっかりと聞き、すみやかに行動せねばと特にこの頃思います。</p>
<p>・防災への対応・準備（含知識）がまだまだであることを思い知らされた。</p>
<p>・避難する時に通る道路がせまい。車がすれ違えないくらいなのに、がれきやブロック塀がたおれて道を塞いでいたら、救助とかにも支障をきたすと思う。袋小路の道路とかも、火災がおきた時は、逃げるのが大変になってきたりするかもしれない。国・県・市でせめて車が2台すれ違う事のできる幅の道路を作らなければいけないような法律などつくってほしい。</p>
<p>・先頃自治会より、「災害時に避難する時手助けして欲しい人は登録する」様な用紙が廻って来たが、なかなか、自分からは記入する事ができなかった。やはり、隣近所で声かけあってお互いに安全に避難する事が出来る様な気配りが又連携が大切だと思います。</p>
<p>・このアンケートを受けて、どんな時には、どの場所に避難するかを、再確認する必要があると思いました。大きい地震があると、一番に何をすべきか、外へ避難する時、何も持っていくか、考えてられないと思います。家に1人だけの時に、そうってしまったら、危ないです。いつ地震が起きてもおかしくないので、準備や家族でどうするか話し合いが大事だと思います。</p>
<p>・地元自治会との連絡が大切と思います。家族との連絡がとれない場合（ケイタイ不通）、遠く離れた親戚・知人を決めておき（家族全員が同じ所に連絡する事を決めておく事）、必要と思いました。</p>
<p>・どうにかなるさと思っていた自分を反省しているところです。</p>
<p>・災害時にどこに避難すればよいのかわからないし、自分がどこの自治体に所属しているのかもわからない。</p>
<p>・アンケートを通して、意外と知らないことがあることを感じた。市に頼らない心掛けも必要だと思いました。</p>

・災害に対し防災が必要という事実や情報は知っているにもかかわらず、実際には備えはしているものの、具体的な行動等については話し合っていない状態です。地震に慣れっこになっているのもあり、また、災害に対しても自分のところは大丈夫と親身に考えられないのも事実でこれをきちんと受け止めて行動、準備を行わなければならないと考えます。

・雪の被害に備えてほしいです。

・電柱の地中化を計画的に進めてほしい（電柱倒れや交通の支障火災発生等から）

・最近、火災が多いので、防災に関してもっと一人一人が勉強して、予防しておくべきであると思いました。

・日頃から家族で防災の話をする事で、実際に災害が発生したときには速やかに対応できるようにしていきたいと思っている。